
■■■ウェブサイトリニューアル
提案依頼書

サンプル

第1版

20XX年XX月XX日

■■■

目次

1	提案依頼にあたって.....	1
1.1	本件の目的.....	1
2	■■■ウェブサイトリニューアルの概要.....	1
2.1	概要 ■■■ウェブサイトのリニューアルを実施し、コンテンツマネジメントシステム(以下 CMS)の導入を行う。.....	1
2.2	スケジュール.....	2
2.3	見積もり.....	2
2.4	納品物.....	2
3	システム環境.....	3
3.1	サーバ構成.....	3
3.2	クライアント PC 環境.....	3
4	CMS の機能要件.....	4
4.1	構造管理.....	4
4.2	コンテンツ入力.....	4
4.3	バージョン管理.....	4
4.4	テンプレート機能.....	5
4.5	新着情報更新.....	5
4.6	ユーザー権限.....	6
4.7	承認管理.....	6
4.8	WEB サーバへの配信.....	6
4.9	クライアント環境.....	7
4.10	セキュリティ・監査.....	7
4.11	多言語対応.....	7
4.12	拡張性.....	7
4.13	保守・サポート.....	7
4.14	事例.....	8

1 提案依頼にあたって

1.1 本件の目的

■■■では、ウェブサイトによる情報発信が、業務内容を広くサイト訪問者に伝え、また、サイト訪問者にとって魅力ある情報を、わかりやすく即座に入手できる手段となることを目指す。

この方針に従い、社員によるコンテンツの作成・更新の容易性を高め、情報提供機能の充実を高めることにより、サイト訪問者にわかりやすく使いやすいウェブサイトに再構築することを目的とする。

また、その実現のため、コンテンツマネジメントシステム(以下、CMSという)の導入を行う。

2 ■■■ウェブサイトリニューアルの概要

2.1 概要

■■■ウェブサイトのリニューアルを実施し、コンテンツマネジメントシステム(以下CMS)の導入を行う。

- ・ ■■資格としてあるべきウェブサイトについての提案
- ・ ドキュメント・マニュアルの整備
- ・ サイト訪問者にとって使いやすいサイトの実現
- ・ CMSの導入
- ・ 既存コンテンツの移行
- ・ CMS利用者への教育

2.2 スケジュール

20XX年XX月XX日～XX月XX日	委託業者選定
20XX年XX月XX日～XX月XX日	委託業者決定
20XX年XX月XX日～XX月XX日	プロジェクト開始キックオフ
20XX年XX月XX日～XX月XX日	基本方針策定
20XX年XX月XX日～XX月XX日	企画、プランニング
20XX年XX月XX日～XX月XX日	制作、構築
20XX年XX月XX日～XX月XX日	データ移行
20XX年XX月XX日～XX月XX日	研修
20XX年XX月XX日	ローンチ

2.3 見積もり

見積もりは以下の3項目に分けて提案すること。

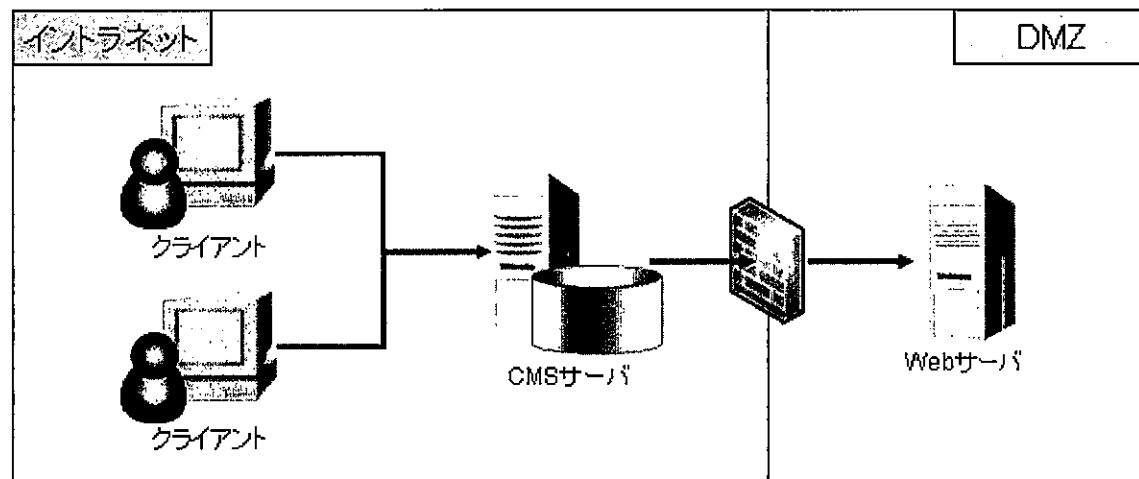
- ・ ウェブサイトリニューアル費用
- ・ CMSソフトウェア費用
- ・ 運用保守費用

2.4 納品物

- ・ ワイヤフレーム
- ・ サイト作成ガイドライン
- ・ コンテンツ構造設計書
- ・ コンテンツリスト設計書
- ・ サイト構造設計書
- ・ コンテンツ・マッピング書
- ・ 入力フィールド情報
- ・ サイト共通部品定義書
- ・ テンプレートレイアウト
- ・ ソフトウェア導入報告書
- ・ コンテンツ入力・変更ガイド
- ・ 検証報告書

3 システム環境

3.1 サーバ構成



※各部署担当者とCMSサーバの通信においてFTP通信は不可とする。
※CMSサーバとWWWサーバの通信においてFTP通信は不可とする。

3.2 クライアント PC 環境

OS	Windows XP Windows Vista
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 Microsoft Internet Explorer 7.0

4 CMS の機能要件

4.1 構造管理

- ・ WEBサイトのディレクトリを作成・変更することが可能
- ・ サイト構造をコピーして展開することが可能
- ・ グローバルメニュー、ローカルメニューの項目を CMS から管理が可能
- ・ 文書要素と画像・レイアウト等のデザイン要素を別々に管理することが可能
- ・ 編集範囲の制限を設定することが可能
- ・ コンテンツを管理する構造とサイトのディレクトリ構造を異なった形で管理が可能

4.2 コンテンツ入力

- ・ ページデザインをブラウジングしながら編集することが可能(WYSIWYG)
- ・ コンテンツ作成時に HTML ソースを直接記述することが可能
- ・ テキストを入力するだけで、リッチなホームページの作成が可能
- ・ ページ内で使用する画像の数に制限がない
- ・ 画像を使用する際にALTを必須入力にすることが可能
- ・ Flash などの外部ファイルを登録することが可能
- ・ MicrosoftOffice のドキュメントを HTML の形でインポートする機能がある
- ・ 行・列数や罫線の太さ、表の幅を指定して表組みを入れることが可能
- ・ ページ内に複数の表を掲載することが可能
- ・ 配信前にプレビューにより確認することが可能

4.3 バージョン管理

- ・ コンテンツごとにバージョン管理が行え、比較、ロールバックが可能
- ・ 共通部品ごとにバージョン管理が行え、比較、ロールバックが可能
- ・ テンプレートごとにバージョン管理が行え、比較、ロールバックが可能

4.4 テンプレート機能

- ・ 高品質なテンプレートを容易に開発可能(Html タグベースのテンプレート開発)
- ・ ページを作成する際に、自動的にサイトマップへ反映させることが可能
- ・ ページを作成した際にパンくずリストを作成することが可能
- ・ カテゴリを作成した際にグローバルナビゲーションもしくはローカルナビゲーションに反映させることが可能。
- ・ コンテンツを追加した際に、関連するページも自動的に修正することが可能
- ・ トップページを最新の情報を自動的に作成が可能
- ・ テンプレートの登録数に制限はない
- ・ すでに製作・公開しているページをテンプレート化することが可能
- ・ フレームなしのページを作成可能
- ・ コンテンツ登録時にレイアウトを指定し、コンテンツ毎にレイアウトが異なるページを生成することが可能
- ・ サイト内で共通で使用しているソースを部品化し、一元的に管理することが可能
- ・ コンテンツに付加情報を持たせ、付加情報で並び替えや絞込みを行うことが可能
- ・ アクセシビリティ対応可能
- ・ RSS の出力が可能

4.5 新着情報更新

- ・ 特定のコンテンツを作成・編集した際に、その内容を別ページの新着情報・トピックス欄に自動的に表示させることが可能
- ・ 特定のコンテンツを作成・編集した際に、その内容を複数ページの新着情報・トピックスへ同時に掲載することが可能
- ・ 新着情報・トピックスへの掲載はそれぞれ掲載期間を設定することが可能
- ・ 新着情報・トピックスへの自動掲載時にタイトルと共に「ジャンル」「日付」などの付加的な情報を表示されるよう設定することが可能
- ・ 新着情報・トピックスへの自動掲載時に、自動的にリンクを設定することが可能
- ・ 新着情報・トピックスへ掲載する場合、任意の期間にその情報が新着情報であることを示すためのマークを表示することが可能
- ・ 新着情報・トピックスへ掲載する場合、任意の件数だけを表示させることが可能

4.6 ユーザー権限

- ・ ユーザーの作業権限をいくつかの階層・レベルに分けることが可能
- ・ ユーザー別に細かく権限を設定することが可能
- ・ 複数のユーザーごとにグループとして管理することができる
- ・ ユーザーの更新履歴を管理することが可能
- ・ グループごとに作業権限・レベルを設定することができる

4.7 承認管理

- ・ 承認なし～5段階承認まで承認フローを設定することが可能
- ・ 1段階に複数人を設定する、並列フローの設定が可能
- ・ 承認依頼時に自動的にメールを送信させることが可能
- ・ 承認者が承認する際にコメントを付記することが可能
- ・ 承認するユーザーが承認の差し戻しを行う際、自動的にメール送信することが可能
- ・ 承認の差し戻しを行う際に、コメントを付記することが可能
- ・ 最終承認者が承認を行った際に自動的にメールを送信することが可能

4.8 WEB サーバへの配信

- ・ 携帯サイトに対応したページを自動生成することができる
- ・ 印刷用ページを自動的に生成することができる
- ・ RSS ファイルを作成することができる
- ・ 作成・編集したコンテンツの公開期間を「年・月・日・時・分」のレベルで設定することができる
- ・ コンテンツ単位で配信の可否が設定できる
- ・ 静的な HTML を配信することができる
- ・ 画像ファイルを html ファイルとは別のサーバへ配信することができる
- ・ CMS サーバから WEB サーバへ配信するファイルを暗号化することができる
- ・ CMS サーバから WEB サーバへ配信するファイルを圧縮することができる
- ・ スケジュールで指定した時間に配信することができる
- ・ 配信されるファイルの名前を指定することができる
- ・ 複数の Web サーバへ同時に配信することができる
- ・ 配信で失敗したときに Web サイトを配信前の状態にロールバックすることができる

- ・ 配信で失敗したときに管理者へメールで通知することができる
- ・ 配信のログ(いつ、誰が、結果)を管理している

4.9 クライアント環境

- ・ ブラウザから全ての操作をおこなうことができる

4.10 セキュリティ・監査

- ・ ログイン時にIDとパスワードにより個人を認証することができる
- ・ パスワードは暗号化して保管されている
- ・ IDによる表示制限または機能制限ができる
- ・ CMS サーバへの接続に SSL を利用することができる
- ・ CMS サーバへ接続しているユーザを把握することができる
- ・ ユーザの操作履歴を管理している

4.11 多言語対応

- ・ 日本語以外の言語でインターフェイスをもっている。また、ユーザ ID ごとに言語を切り替えることができる
- ・ コンテンツを多言語で登録することができる

4.12 拡張性

- ・ 公開された API をもっている
- ・ 業界標準の技術を基盤としている
- ・ 他システムと連携することができる

4.13 保守・サポート

- ・ 日本語のマニュアルが提供されている
- ・ システムのログを収集することができる
- ・ ユーザ同士の交流の場が提供されている
- ・ 専任スタッフによるサポートセンターが提供されている
- ・ 教育コースが提供されている
- ・ 製品は定期的にバージョンアップしている

4.14 事例

- ・ 日本国内で 100 以上の企業、団体に実績導入のあるソフトウェアであること。
- ・ 導入した実績のある企業、団体が特定の業種に偏っていないこと。
- ・ 代表的な導入実績について導入先及び規模を明記すること。